

令和4年度第2回 南房総・館山地域公共交通活性化協議会次第

令和4年8月10日（水）14時～

於：南房総市役所 別館1 大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 南房総・館山地域公共交通活性化協議会規約の一部改正について

【協議第7号】

(2) 令和4年度実証運行事業詳細について

【協議第8号】

(3) 路線バス 白浜千倉館山線のダイヤ見直し進捗状況について

【報告第1号】

4 その他

交通事業者からの情報提供、ほか意見交換など

5 閉 会

南房総・館山地域公共交通活性化協議会名簿

敬称略

	役 職 名	氏 名
1	千葉県総合企画部 交通計画課長	鈴木 真
2	南房総市副市長	嶋田 守
3	館山市副市長	鈴木 雄二
4	東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長	簾谷 幸治
5	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事	成田 斉
6	日東交通株式会社 運輸部長	高橋 晴樹
7	ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長	竜崎 広幸
8	鏡浦自動車株式会社 専務取締役	平野 直
9	南房タクシー株式会社 代表取締役	本間 裕二
10	日東交通労働組合 安房支部代表	丸山 徹
11	安房土木事務所 調整課長	齋藤 英貴
12	南房総市住民・利用者代表(富山地区)	高橋 佐一
13	南房総市住民・利用者代表(白浜地区)	本橋 清一
14	館山市住民・利用者代表(連合会長・館山地区連合町内会長)	山崎 秀雄
15	館山市住民・利用者代表(連合副会長・富崎地区連合区長会長)	嶋田 政雄
16	国土交通省関東運輸局 交通政策部交通企画課長	松木 拓
17	関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	平田 伸一
18	館山警察署 交通課長	木村 泰行
19	安房道の駅連絡会会長	鈴木 賢二
20	館山市社会福祉協議会事務局長	井澤 浩
21	NPO法人まちづくり支援センター代表理事	為国 孝敏
22	日本大学理工学部交通システム工学科 教授	轟 朝幸

一般社団法人千葉県トラック協会の参画取りやめに係る協議会規約改正について

○経緯等について

- ・一般社団法人千葉県トラック協会所属の委員（当時）から「6月15日をもって職を辞し、その後協会として参画しないこととしたい」旨の申し出があった。
- ・協議会規約第4条では「協議会は、別表1に掲げる委員をもって組織する。」とされており、現行規約では別表1に、千葉県トラック協会が記載されている。
※「別表1」については、別紙「新旧対照表」をご確認ください。
- ・事務局としては、千葉県トラック協会の協議会参画を取りやめることとし、下記及び別紙（案）のとおり規約を改正したいと考えている。

南房総・館山地域公共交通活性化協議会規約を一部改正する規約（案）

南房総・館山地域公共交通活性化協議会規約（令和元年10月11日施行）の一部を次のように改正する。

別表第1（法第6条第2項第2号）にある

「一般社団法人千葉県トラック協会」を削除する。

附 則

この規約は、令和4年8月10日から施行する。

【協議第7号別紙】南房総・館山地域公共交通活性化協議会規約一部改正に関する新旧対照表（案）

（下線部分は改正部分）

改 正 案		現 行	
(設置)			
別表第1（第4条関係）		別表第1（第4条関係）	
条項	委員	条項	委員
法第6条第2項第1号		法第6条第2項第1号	
法第6条第2項第1号	東日本旅客鉄道株式会社 館山駅	法第6条第2項第1号	東日本旅客鉄道株式会社 館山駅
	一般社団法人 千葉県バス協会		一般社団法人 千葉県バス協会
	日東交通株式会社		日東交通株式会社
	ジェイアールバス関東株式会社 館山支店		ジェイアールバス関東株式会社 館山支店
	一般社団法人 千葉県タクシー協会		一般社団法人 千葉県タクシー協会
	南房総市及び館山市域内タクシー事業者代表		南房総市及び館山市域内タクシー事業者代表
	<u>一般社団法人 千葉県トラック協会</u>		<u>一般社団法人 千葉県トラック協会</u>
	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車 が組織する団体		一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車 が組織する団体
	安房土木事務所調整課		安房土木事務所調整課
法第6条第2項第3号		法第6条第2項第3号	
事務局		事務局	

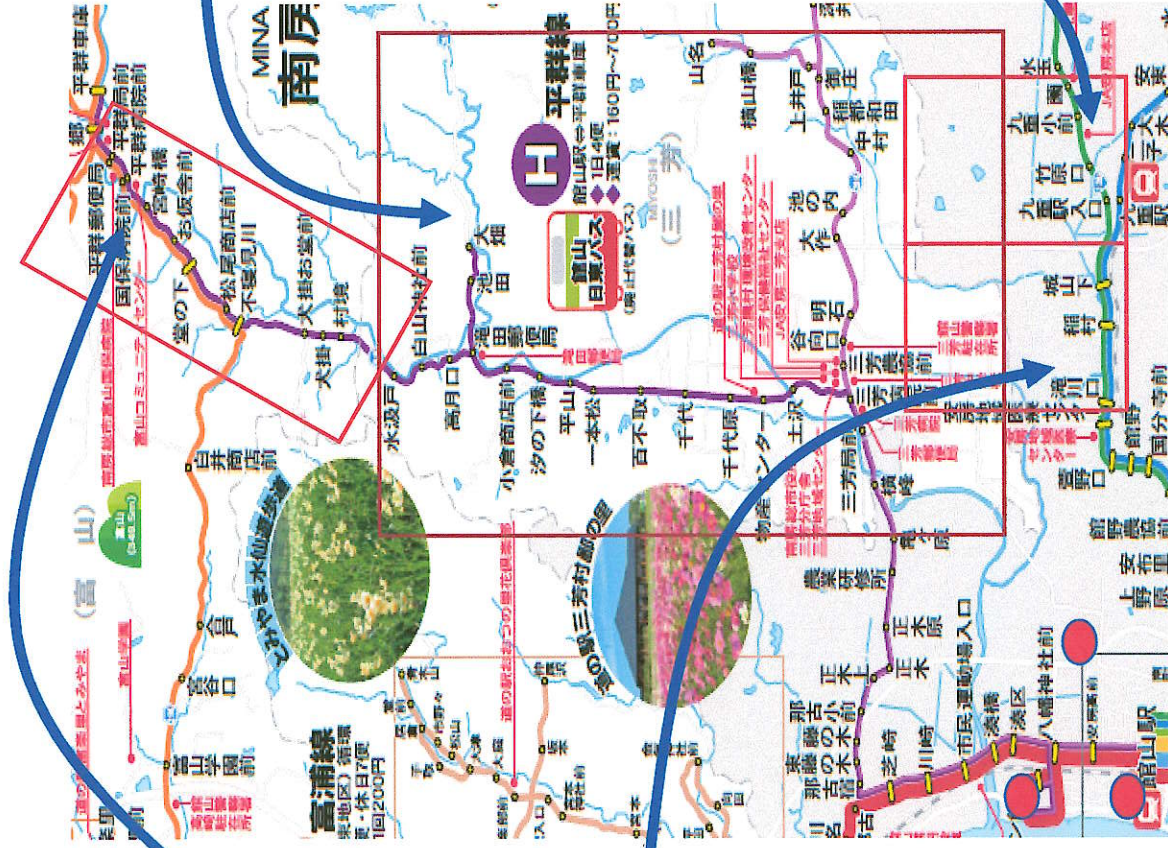
令和4年度 平群線エリアにおけるオンデマンド交通の実証運行計画案

令和4年度実証運行案

運行目的	令和3年度までの実証結果を踏まえ、南房総市の三芳地区、富山地区の一部並びに館山市の館野・九重地区の一部を含めたエリアにおいて、AIオンデマンドシステムを活用したフルデマンドバスの実証を行う。運行エリアが広範囲に及び、集落も点在しているため、AIオンデマンドシステムを導入し、少ない台数（2台想定）で効率的な運行を行えるかを検証する。 検証課題：①予約制による乗合タクシー（バス）の運行 ②エリア内やお買い物、交通結節点までの移動手段の確保 ③運行時間や運賃の適正など	
運行期間	令和4年10月1日（許可日）から令和5年3月31日 6ヶ月間程度	
運行の位置づけ	乗合形式による実証運行 ※道路運送法第21条許可による	
運行事業者	鏡浦自動車株式会社	
運行形態	AIシステムを活用したオンデマンド運行 ※スマートフォンアプリ、または、コールセンターのオペレーターが電話にて利用者からの配車予約を受け付け、AIが乗合タクシーを配車。利用者は運行エリア内であれば、指定の場所にて乗降が可能とする。このほか、エリア外に2か所の目的地を設置。なお、電話受付オペレーターは、受託運行事業者が担う。	
目的地	エリア外目的地として「イオンタウン館山」及び「JR館山駅」を設定	
ルート又は運行エリア	別紙「運行エリアの範囲」のとおり	
停留所	アプリ上はバーチャルバス停、現地は目印を決める（ゴミステーション間隔）※原則、従来のようなバス停は設置しない。	
運行時間帯	午前9時から午後3時（アプリ受付は24時間受付、電話受付は毎日8時30分～14時30分）	
運行日	週5日（月・火・木・金・土）※水・日・祝日は運休	
運賃	①スマートフォンでの予約の場合：エリア内-300円、エリア外目的地500円 ※小学生-半額、小学生未満-無料 ②電話予約の場合：エリア内-300円、エリア外目的地700円 ※障害者手帳保持者、運転経歴証明書所有者-1/2割引適用あり	
使用車両数	2台（ワゴン車1台・普通車1台）	
その他	①システム：7.26プロポーザル審査委員会にて(株)アイシン（チョイソコ）に決定（システム支援業務） ②千葉県補助事業「新モビリティサービス導入推進事業補助金」を活用（R4.7.28交付決定）③従来の平群線：全便運休	

運行エリアの範囲

【協議第8号-1】



南房総市富山地区平群エリア

- ・平群線沿線を基本とし、
県道88号線沿いの平群車
庫バス停までの範囲

南房総市三芳地区エリア

- ・三芳地区全域

館山市館野地区エリア

- ・国道128号沿線から南房
総市方面のエリア及び、安
房地域医療センターから国
道128号にある稲交差点
までの範囲

館山市九重地区エリア

- ・稲交差点からJR九重駅を
含め、「スーパーときわや」
までの範囲

エリア外の目的地



- ・イオンタウン館山
- ・JR館山駅

令和4年度 豊房線エリア買い物シャトルサービス実証運行計画案（最終案）

令和4年度実証運行案	
運行目的	既存バス路線の利用が著しく減少し、維持が困難な状況になりつつある豊房線沿線エリアにおいて、各集落をこまめに巡回する「買い物シャトルサービス」を実証運行することでニーズの再把握を行い、より利用しやすい運行形態とコスト抑制の両立を模索する。なお、運行結果により、令和5年度以降、既存路線の見直しを検討する。
運行期間	令和4年11月下旬から令和5年3月31日 ※リース車両の導入時期が当初想定より遅れているため、開始時期が後ろ倒しとなった
運行の位置づけ	乗合形式による実証運行
運行事業者	鏡浦自動車株式会社
運行形態・運行日	3つのコースを設定 曜日よりコースを分け、各コース週1回、定時定路線型で運行 ・コース1：神余～竜岡～神戸コース【水曜日運行】 ・コース2：白浜川下～東虹苑～長田～大戸・岡田コース【金曜日運行】 ・コース3：畑～千倉大貫～古茂口～山荻・作名～飯沼・南条コース【火曜日運行】
目的地	尾張屋館山本店（道路上）、おどやスーパーセンター（協議が調えば敷地内）、館山病院（協議が調えば敷地内）
ルート	別紙のとおり
停留所数	停留所は定めず、経路上フリー乗降とする（フリー乗降取扱については、今後警察等と協議の上最終決定する）
運行時間帯	【往路】始発地9:30発⇒市内10:20頃着 【復路】市内11:00頃発⇒終着地11:50頃着
運賃	長田、古茂口から市内寄りのエリアは片道300円 上記以外は片道500円 ※県道88号線の中山トンネル/国道410号線の切割を境に運賃額を設定
使用車両数・車種	1台 ハイエース10人乗り又は同等車両 ※ルート上に狭隘路が存在するため
補助金活用	県補助金交付決定（1,887千円）
目標等	1台当たり3人程度*の利用者数を目標とする *令和3年度 神戸地区での実証実験の実績が、1台平均3.1人であったため。 【参考：令和3年度の路線バス豊房線利用状況】 ・年間輸送人員：6,828人⇒1日当たり平均約19人、1便当たり平均約2.1人の利用実績 ・補助金額は2市合計で10,119千円⇒利用者1人当たり行政負担額約1,482円（特別交付税措置は加味していない）

【凡例】



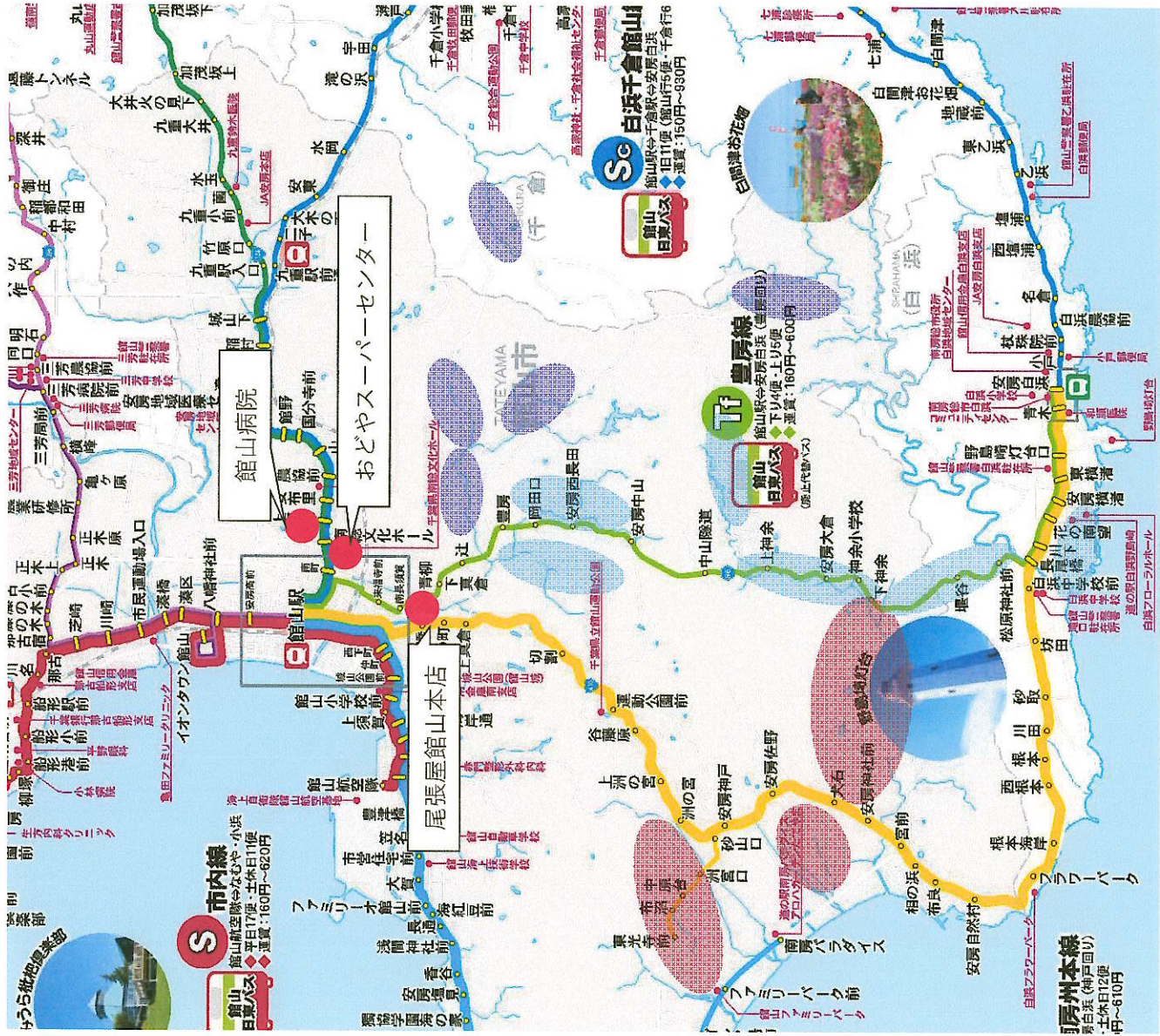
コース1 主な運行エリア



コース2 主な運行エリア



コース3 主な運行エリア



【協議第8号-2 別紙1】 豊房線エリア等買い物チャルトサービス実証運行ルート図等（イメージ）

【ダイヤ案】

始発地9:30発⇒市内10:15頃着
市内11:30頃発⇒終着地12:15頃着

尾張屋銀座本店（下真倉）⇒おどやスパーセーター（北条）⇒銀座病院（北条）
※帰路も同じ順番で回る。
※立ち寄り箇所は協議状況等により変更する可能性がある。

【凡例】

※黄色：コース1、水色：コース2、紫色：コース3

復路
↑
往路
↓

※コース1のみ経路が往復で異なる

点線より上の
エリア
運賃300円

茂名・洲宮
(復路終点)

山下 (往路起点)

信 中 尾
上 の ヱ 大

岡竜

佐野西・犬石

【コース1】水曜日

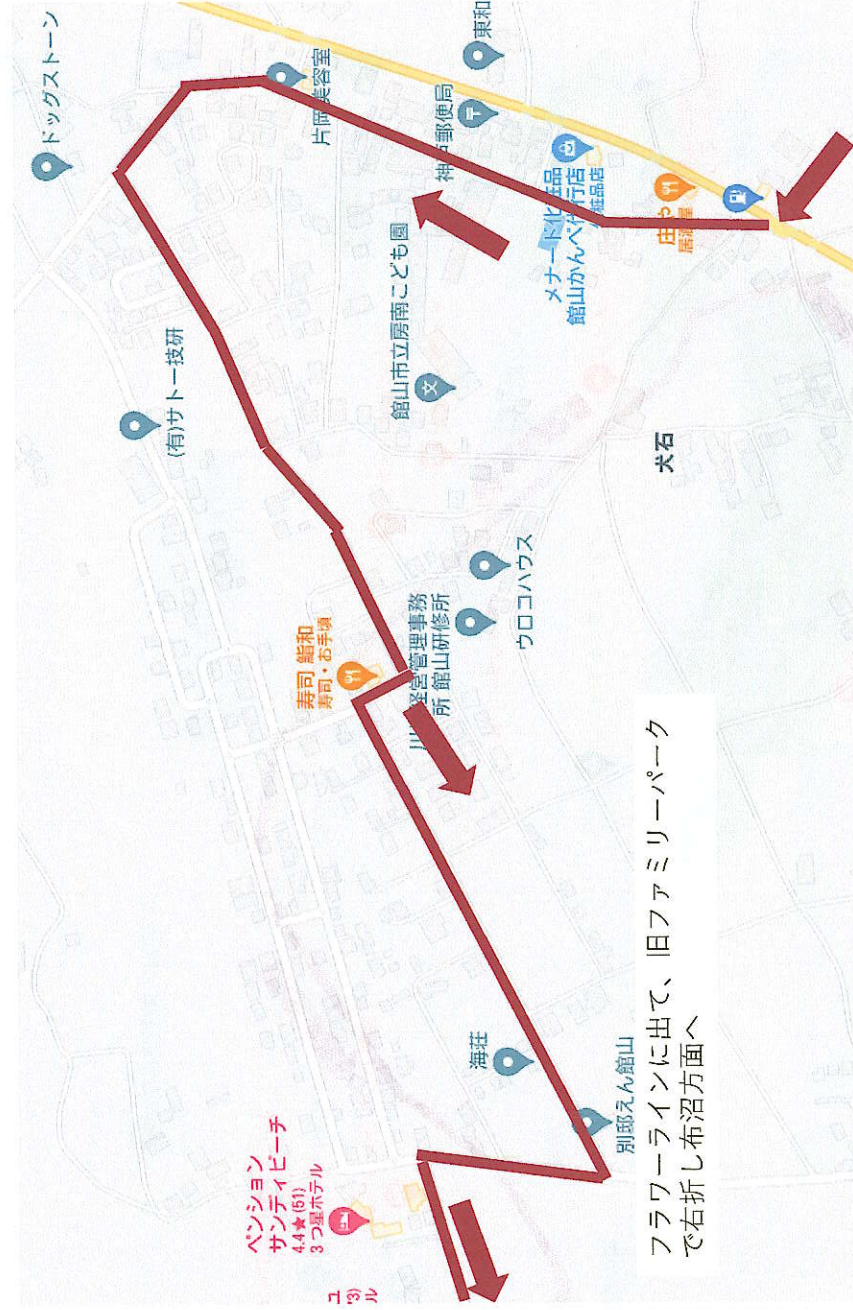
【コ-ス2】金曜日

【コース3】火曜日

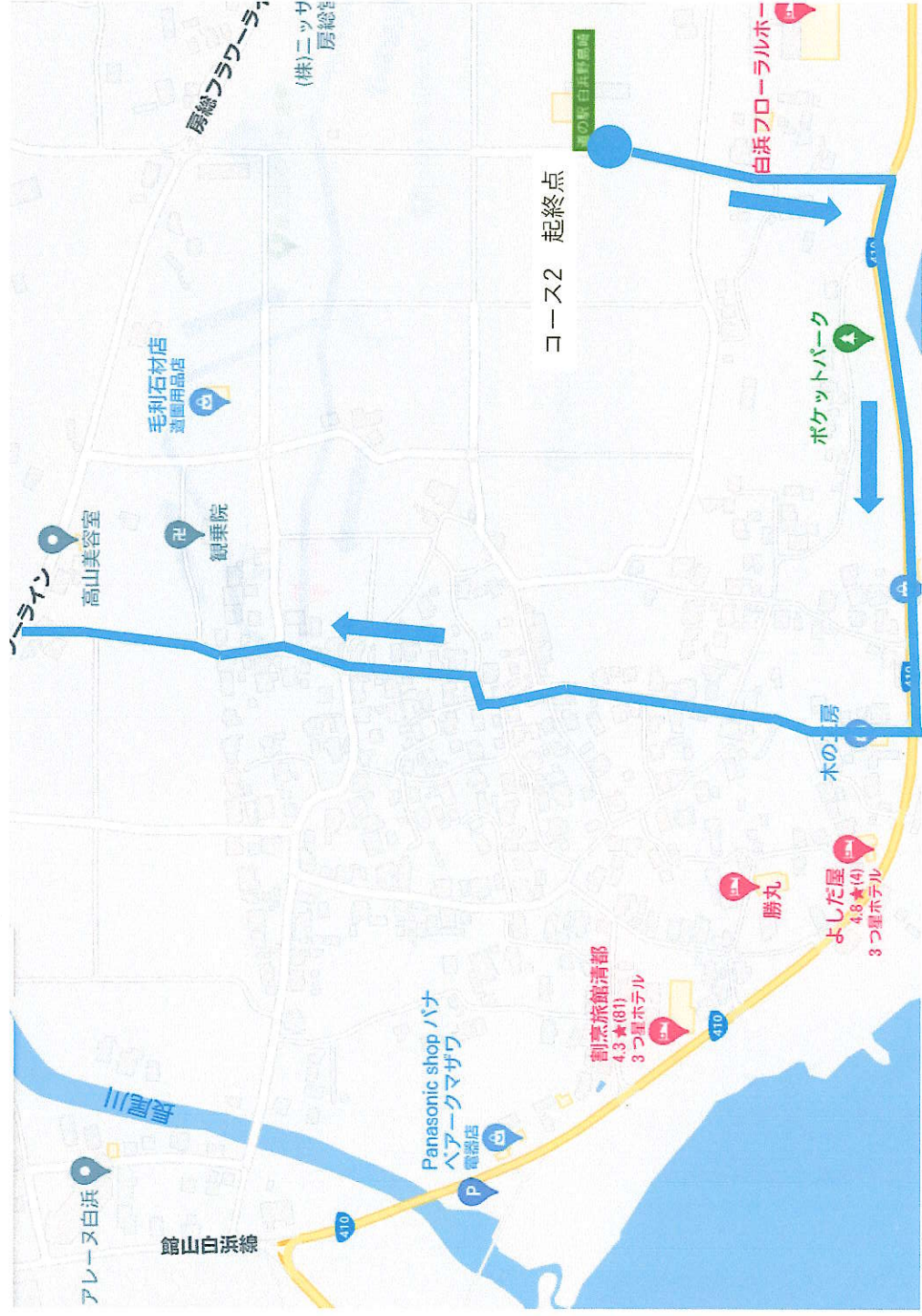
点線より下のエリア
運賃500円

千倉大貫

烟



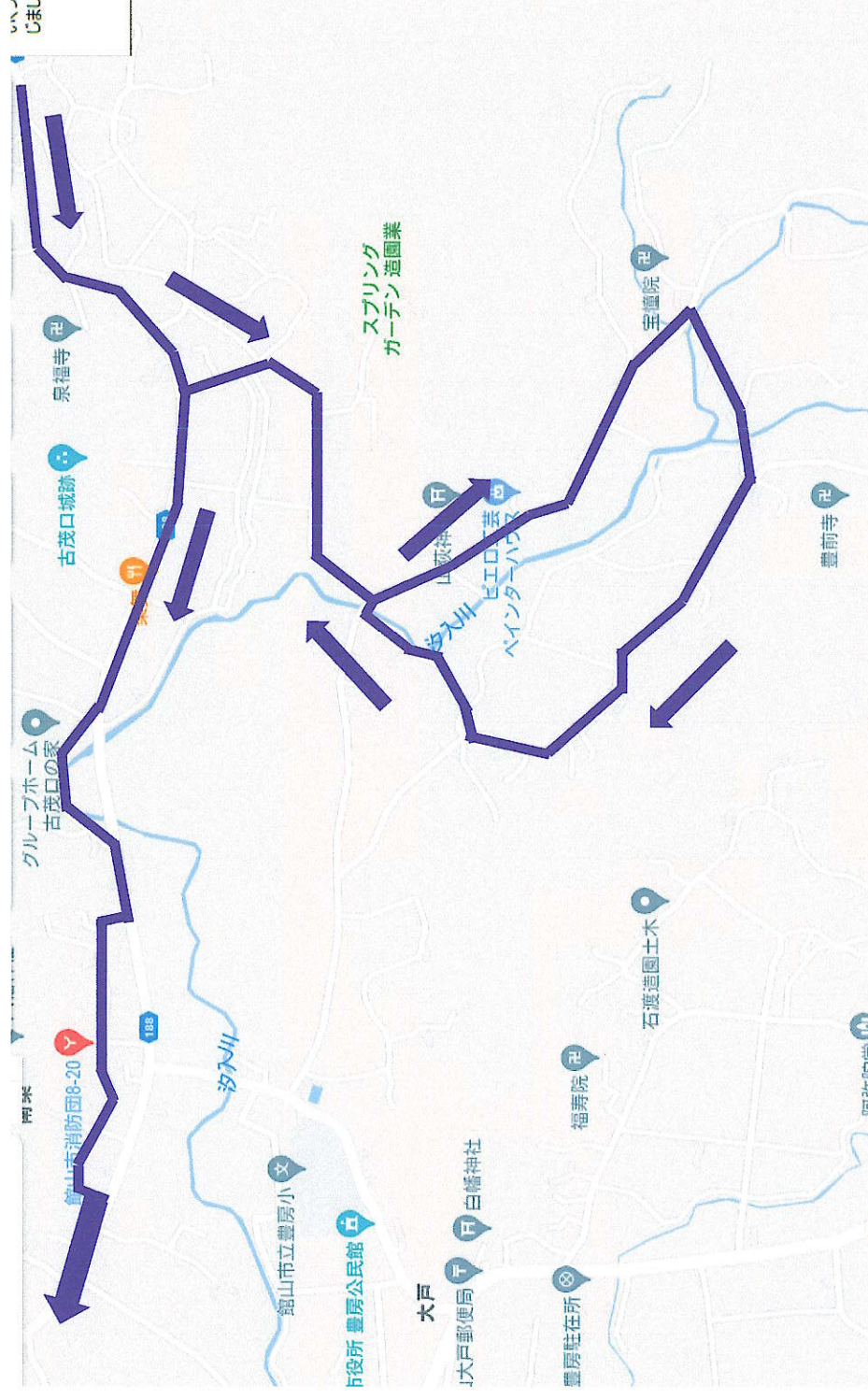
コース2 【白浜】 川下エリア詳細図



コース2 【豊房】長田、大戸、岡田、出野尾エリア詳細図



コース3 【豊房】古茂口・山萩・作名・飯沼・南条エリア詳細図



路線バス 白浜千倉館山線のダイヤ見直しに係る進捗状況について

○ダイヤ見直しに向けた進捗状況

- ・ 前回の第1回協議会において、令和4年10月1日に減便も含めたダイヤ改正する方向で協議を進めることについてご審議いただき、承認を受けたところ。
- ・ 第1回協議会終了後、2市及び運行事業者である日東交通と打合せを重ね、7月11日から15日の平日5日間、白浜千倉館山線全便の乗降調査を行い、利用動向を確認した。
- ・ しかしながら、改正後のダイヤ案について、本日時点で協議がまとまっていない。

○今後の方向性

- ・ 持続可能性と利便性を両立させた最適な運行体制とするため、「10月1日ダイヤ改正」は一旦白紙とし、2市及び日東交通にてダイヤ案の協議を続ける。
- ・ ダイヤ案について協議がまとまり次第、次回以降の協議会にてご審議いただく。
- ・ ダイヤ改正実施が整った段階で国への届け出等を行い、ダイヤ改正を実施する。

○添付資料

- ・ 別紙1：乗降調査の結果（7月11日～7月15日実施）
- ・ 別紙2：停留所別利用者数推移グラフ
- ・ 別紙3：乗降調査時に実施したアンケート集計結果
- ・ 別紙4：白浜千倉館山線 現在のダイヤ改正案

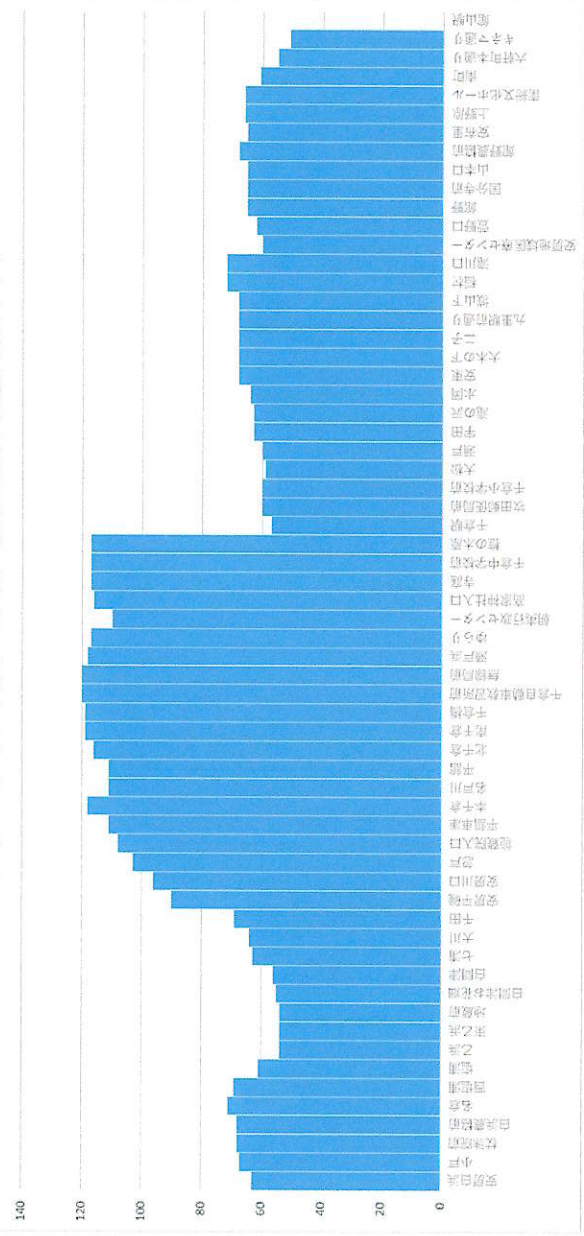
【参考1：利用目的（アンケートから）】

- ・ 遊び、趣味、習い事 24%
- ・ 公共施設利用 19%
- ・ 通院 17%
- ・ 通勤 14%
- ・ 買い物 8%
- ・ 通学 2%

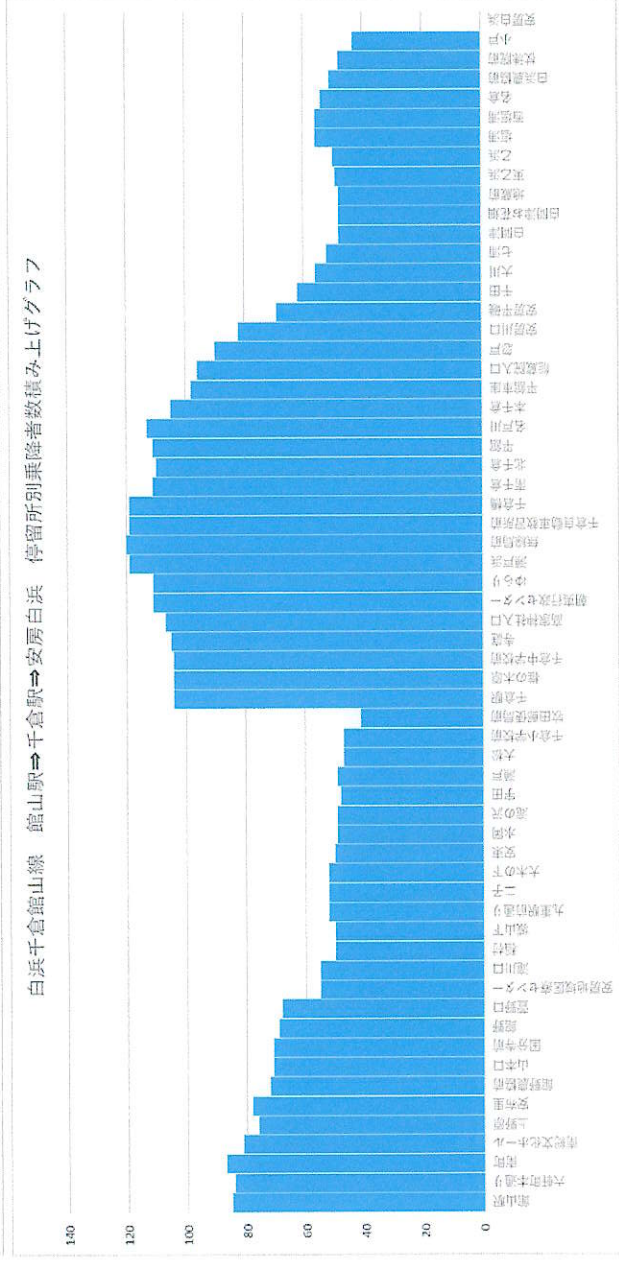
【参考2：利用者からの主な意見等】

- ・ 安房地域医療センター等、館山市内に乗り換えなくアクセスできて便利。
⇒利用状況を見ても、旧千倉町内等から館山市内への直通需要の多さがうかがえる。
- ・ 亀田病院に行くのに、千倉駅で電車に乗り換え、安房鴨川駅で更にバスやタクシーに乗り継ぐ必要があり不便になった。

停留所別利用者数推移グラフ



停留所別利用者数推移グラフ



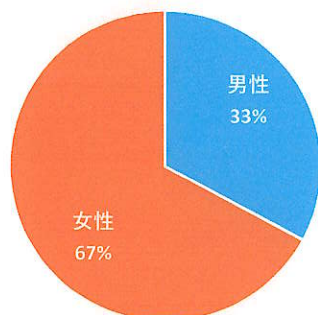
白浜千倉館山線乗降調査（R4.7.11～15、平日5日間実施）アンケート調査結果取りまとめ

※各項目とも、未記入者がいるため、トータルの数は一致しない。また、利用目的と改善点については、2つ回答した者もある。

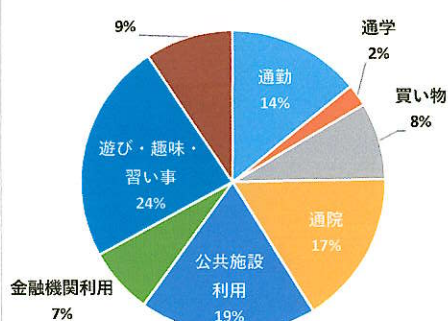
のぼり 5日間トータル			くだり 5日間トータル			総合計		
性別	1 男性	4	性別	1 男性	22	性別	男性	26
	2 女性	16		2 女性	37		女性	53
年齢	1 10歳代	1	年齢	1 10歳代	7	年齢	10歳代	8
	2 20歳代	0		2 20歳代	1		20歳代	1
	3 30歳代	3		3 30歳代	3		30歳代	6
	4 40歳代	2		4 40歳代	4		40歳代	6
	5 50歳代	2		5 50歳代	9		50歳代	11
	6 60歳代	4		6 60歳代	7		60歳代	11
	7 70歳代	5		7 70歳代	19		70歳代	24
	8 80歳代以上	4		8 80歳代以上	12		80歳代以上	16
住まい	1 南房総市内	14	住まい	1 南房総市内	42	住まい	南房総市内	56
	2 南房総市以外	5		2 南房総市以外	13		南房総市以外	18
利用目的	1 通勤	6	利用目的	1 通勤	6	利用目的	通勤	12
	2 通学	0		2 通学	2		通学	2
	3 買い物	1		3 買い物	6		買い物	7
	4 通院	4		4 通院	10		通院	14
	5 公共施設利用	5		5 公共施設利用	11		公共施設利用	16
	6 金融機関利用	3		6 金融機関利用	3		金融機関利用	6
	7 遊び・趣味・習い事	3		7 遊び・趣味・習い事	17		遊び・趣味・習い事	20
	8 その他	3		8 その他	5		その他	8
利用方法	1 片道のみ	3	利用方法	1 片道のみ	15	利用方法	片道のみ	18
	2 往復利用	15		2 往復利用	36		往復利用	51
利用頻度	1 週5日以上	4	利用頻度	1 週5日以上	5	利用頻度	週5日以上	9
	2 週3～4日	6		2 週3～4日	14		週3～4日	20
	3 週1～2日	4		3 週1～2日	9		週1～2日	13
	4 月2～3日	1		4 月2～3日	13		月2～3日	14
	5 月1日	4		5 月1日	13		月1日	17
	6 年に数回	2		6 年に数回	3		年に数回	5
満足度	1 満足	6	満足度	1 満足	20	満足度	満足	26
	2 やや満足	0		2 やや満足	9		やや満足	9
	3 どちらでもない	7		3 どちらでもない	11		どちらでもない	18
	4 やや不満	1		4 やや不満	1		やや不満	2
	5 不満	7		5 不満	9		不満	16
改善点	1 運行本数	9	改善点	1 運行本数	30	改善点	運行本数	39
	2 運行時間帯	2		2 運行時間帯	10		運行時間帯	12
	3 運行ルート	6		3 運行ルート	8		運行ルート	14
	4 運賃	0		4 運賃	1		運賃	1
	5 鉄道との乗継	1		5 鉄道との乗継	4		鉄道との乗継	5
	6 待合環境	3		6 待合環境	3		待合環境	6
	7 運行情報提供	0		7 運行情報提供	1		運行情報提供	1
	8 運行時刻の正確さ	8		8 運行時刻の正確さ	2		運行時刻の正確さ	10

白浜千倉館山線乗降調査（R4.7.11～15、平日5日間実施）アンケート調査結果グラフ

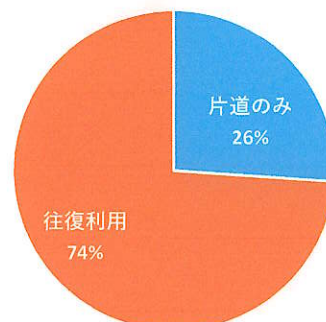
利用者性別



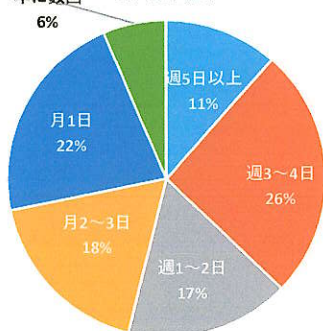
利用目的



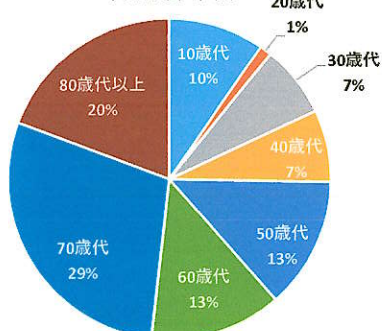
利用形態



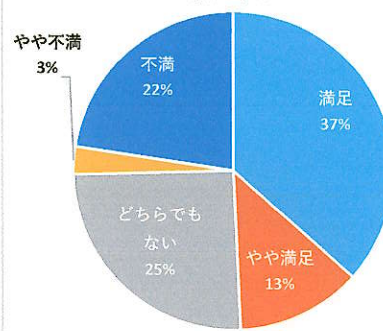
利用頻度



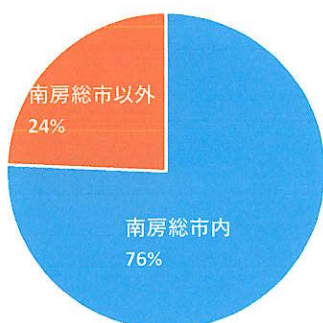
利用者年齢



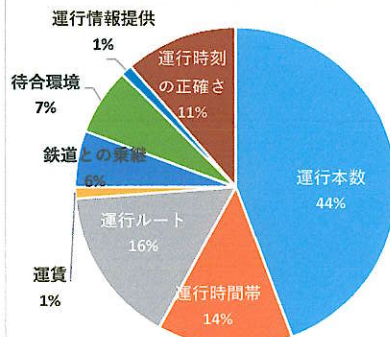
満足度



利用者居住地



改善してほしい点



◎ 東乙浜発7:25便は、7/21～8/31、12/24～1/4、3/25～4/4 運休です。